

り実施、先進地視察、講演会の開催。

▼川西にいがたライオンズクラブ（浦井純会長・会員35人・水口沢）＝昭和56年の会発足以後、国道沿線食弁当の配達、献血事業の路の清掃活動、老人福祉給食の会の開催。

▼手打ちそば・みさわ（富澤皓一店主・活動は富澤菊治線にも活動域を広げた。代天水島の沿線に花の植栽を開始。後に町道や集落沿線にも活動域を広げた。）

澤皓一店主・活動は富澤菊にはペレットストーブ、津南町にはプロジェクトスターを寄贈した。

# 食肉廃油をエネルギーに

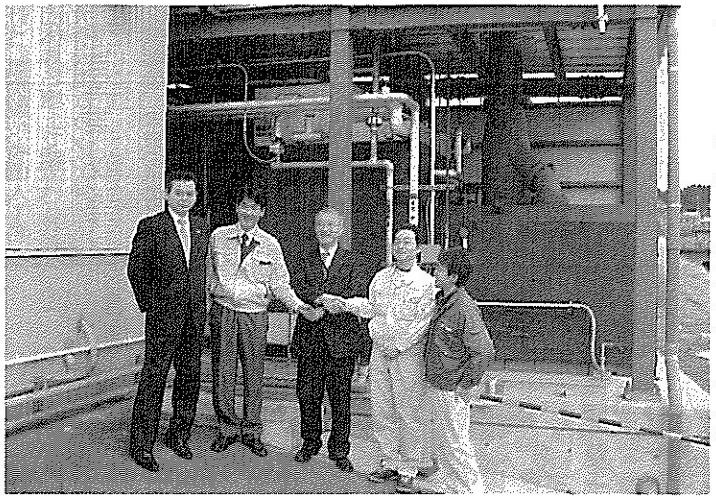
(株)ミートコンパニオンがバイオシステム

(阿部昌史社長・本社・東京都立川市)の加熱食肉調理製品を担当する十日町市高山山の新潟第2工場・テリカセンターでは、肉の廃油を燃焼し、その熱を工場用温水として活用する“超高温燃焼システム”が完成、稼働を開始した。

一つのことがわからないが、みんなができることが集まつたら大きなことができると思つ。子供達も書き込みながら活動してほしい」と語った。

福嶋さんは「あらためて地元を見ることは難しい。よその人から教えられることが多い。中条の良い点は団結力があること。何かがあると面倒臭いなどと言つながら、徐々に盛り上つてくる。“世界中があこがれる中条になつたらしいなあ”と人々が思いながら、何でも楽しく続けていくことが素晴らしい中条を作ることにつながると思う」と考へ述べた。

酒井さんは「アイヌはまとまりが悪く、人それぞれの活動が中心。中条には初めて来たが、まとまのがいい。パワーを結集すれば良いと思う。繩文土器は素晴らしい。當時の人達の美意識は凄いと思う。アイヌは活動にのめり込んでほしい」と語り、関野さんは「行きたい所はいっぱいあるが、住みたい所は自分の家。中条は足元をしつかりさせることが大切で、自分達が住んでいる所でやるべきことをやつてほしい」と語った。パネリストとして参加した酒井さんは前段でアイヌの歌や踊り、関野氏は探検の体験談を披露した。



バイオマスボイラを前に共同開発3社で握手

理製品を担当する十日町市

高山山の新潟第2工場・テリ

カセ

ン

カ

ス

（純粹油）

を

バイ

オ

マ

ス

ボ

イ

ラ

ー

ラ

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー